

松監事第16号  
令和4年8月17日

松本市今井財産区  
管理者 松本市長 臥雲 義尚 様

松本市監査委員 上 杉 陽 一  
同 竹 本 祐 子  
同 上 條 俊 道

令和3年度松本市今井財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度松本市今井財産区特別会計歳入歳出決算とその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

## 令和3年度松本市今井財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

令和3年度松本市今井財産区特別会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

令和4年6月1日から令和4年8月16日まで

### 第3 審査の方法

松本市監査基準に従って策定した令和3年度決算審査等実施計画に基づき、提出された決算その他関係書類が法令に適合し、かつ、正確であるか、また、予算の執行状況、会計処理の適否、計数の正否、財産の管理状況等に主眼を置いて検証し、審査を実施しました。

なお、審査に当たっては、決算状況その他を把握できる調書や、事務執行に関する各種帳簿類等審査に必要な書類の提出を求め、必要に応じて説明を受けました。また、審査を効率的、効果的に実施するため、例月現金出納検査など、これまでの監査の結果を踏まえて審査を実施しました。

### 第4 審査の結果

上記のとおり審査した限り、その重要な点において、審査に付された歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令の規定に準拠して作成されており、記載数値については、関係諸帳簿及び証書類と照合の結果、いずれも符合し、正確であると認められました。

なお、決算の概要及びこれらに対する意見については、次に述べるとおりです。

#### 1 決算の概要

##### (1) 総括

予算現額 192 万円（前年度比 4 万円、2.0%減）に対し、歳入の決算額は 191 万 7,335 円（前年度比 3 万 470 円、1.6%減）、歳出の決算額は 105 万 1,665 円（前年度比 2 万 1,030 円、2.0%減）で、形式収支は 86 万 5,670 円（前年度比 9,440 円、1.1%減）となっています。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支も形式収支と同額の 86 万 5,670 円の黒字決算となっています。

### 決 算 収 支

(単位：円、%)

区 分 \ 年 度	3 年 度 (a)	2 年 度 (b)	比較増減 (c)=(a)-(b)	増減率 (c)/(b)
予 算 現 額	1,920,000	1,960,000	△40,000	△2.0
歳 入 決 算 額	1,917,335	1,947,805	△30,470	△1.6
歳 出 決 算 額	1,051,665	1,072,695	△21,030	△2.0
歳入歳出差引額(形式収支)	865,670	875,110	△9,440	△1.1
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	—
実 質 収 支	865,670	875,110	△9,440	△1.1

#### (2) 歳入

収入率は、予算対比 99.9%、調定対比 100.0%で、歳入の主なものは、寄附金 104 万 2,000 円、繰越金 87 万 5,110 円です。

決算額は、前年度と比較して 3 万 470 円 (1.6%) の減となっています。これは、主に繰越金が減少したことによるものです。

### 歳 入 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 率		収 入 済 額 構 成 比
				予 算 対 比	調 定 対 比	
財産収入	10,000	220	220	2.2	100.0	0.0
寄 附 金	1,020,000	1,042,000	1,042,000	102.2	100.0	54.3
繰 入 金	0	0	0	—	—	—
繰 越 金	880,000	875,110	875,110	99.4	100.0	45.6
諸 収 入	10,000	5	5	0.1	100.0	0.0
歳入合計	1,920,000	1,917,335	1,917,335	99.9	100.0	100.0
2 年 度	1,960,000	1,947,805	1,947,805	99.4	100.0	—
比較増減	△ 40,000	△ 30,470	△ 30,470	—	—	—
増 減 率	△ 2.0	△ 1.6	△ 1.6	—	—	—

### (3) 歳出

執行率は、54.8%で、歳出の主なものは、総務費の財政調整積立基金積立金 44 万 220 円、負担金 25 万 6,265 円です。

決算額は、前年度と比較して 2 万 1,030 円(2.0%)の減となっています。これは、総務費の積立金が減少したことなどによるものです。

### 歳 出 状 況

(単位：円、%)

区分 款 別	予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額 構成比
議会費	170,000	128,400	41,600	75.5	12.2
総務費	831,000	706,715	124,285	85.0	67.2
農林水産業費	520,000	216,550	303,450	41.6	20.6
予備費	399,000	0	399,000	—	—
歳出合計	1,920,000	1,051,665	868,335	54.8	100.0
2 年度	1,960,000	1,072,695	887,305	54.7	—
比較増減	△ 40,000	△ 21,030	△ 18,970	—	—
増減率	△ 2.0	△ 2.0	△ 2.1	—	—

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地の年度末現在高は、山林 4,260,536 m<sup>2</sup>で、年度中の増減はなく、立木の推定蓄積量は、1,223 m<sup>3</sup>増加し、74,174 m<sup>3</sup>となっています。

出資による権利は、松本広域森林組合への出資金 19 万 4,800 円で、年度中の増減はありません。

### (2) 基金

財政調整積立基金の年度末現在高は、1,061 万 1,425 円で、前年度より 44 万 220 円増加しています。

## 3 監査委員の意見

本財産区の運営は、地区住民からの寄附金が主な財源となっています。限られた財源ではありますが、治山治水の観点のほか、脱炭素社会の実現に向

けて重要な役割を持つ森林を維持し、次世代へ引き継いでいくため、地区住民に財産区の活動や森林への理解と関心を深めてもらう取組みを継続してください。今後の財産区の方角性を見据え、新たな担い手の育成のためにも、とりわけ子どもが楽しみ、森林への興味や親しみを持ってもらえるような取組みを期待します。

また、近年増加し激甚化する豪雨災害などに備え、定期的な維持管理を継続し、森林の保全に努めてください。